

新居浜工業高等専門学校 数理・データサイエンス・AI教育プログラム 令和3年度自己点検・評価結果

評価日時：令和4年3月25日

会議場所：新居浜工業高等専門学校

会議名称：点検・評価運営委員会

目的：令和3年度のデータサイエンス教育プログラムの内部評価

評価項目：文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の審査項目の観点による評価

自己点検・評価項目	自己点検 ・評価結果	自己点検・評価理由
プログラムの履修・修得状況について	良好	本校では所属の学科・学年に開設されている授業科目（同一時間帯に開講される選択科目は受講申告によりいずれかを選択）は、すべて受講しなければならないように定められている。そのため、本教育プログラム履修者となる平成30年度入学生以降、本教育プログラムに係わる科目の履修率は100%となっている。また、その約6割が必修科目であり、必修でない科目も半分は修得率100%である。ただし、一部に修得率90%程度の科目がある。
学修成果について	良好	本校では本教育プログラムに係わる科目だけでなく全科目の授業アンケートを実施している。教務委員会にて授業アンケートの結果を集計し、観点別評価（学生の受講態度、教員の授業姿勢、達成度）を行っている。その評価値は最大50pt～最小－50ptの幅がある。本教育プログラムに係わる科目の令和3年度観点別評価は、学生の受講態度37pt、教員の授業姿勢39pt、達成度30ptであり、いずれも全科目の評価の平均値35pt、38pt、23ptより高かった。以上のことから、特に本教育プログラムに係わる科目の達成度が高く、学修成果があがっていると評価できる。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度について	極めて 良好	本教育プログラムに係わる科目の令和3年度授業アンケート結果の平均値は「内容は理解できましたか」に対して「よく理解できた」が75%、「どちらともいえない」が23%、「理解できなかった」が2%、また「この授業の学習目標に対する自分の達成度はどのくらいだと思いますか」に対して「80%以上」が62%、「60%以上」が36%、「60%未満」が2%であった。以上のことから、履修学生は内容の理解度が高く、かつ達成度が高いと評価できる。

後輩等他の学生への推奨度について	極めて良好	本教育プログラムに係わる科目はすべて受講しなければならないように定められており、これによって後輩を含めた全学生に履修および修得を促す規則としている。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況について	極めて良好	本教育プログラムに係わる科目はすべて受講しなければならないように定められており、これによって履修率は全学科において100%が見込まれる。
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価について	—	令和4年3月卒業時点で本教育プログラム修了者はいない。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	良好	本校では毎年運営諮問会議にて外部評価を受けている。令和3年2月に開催された運営諮問会議で、外部有識者委員から「高専では、ICT教育において高度な技術の活用、セキュリティの問題等、正しい知識や技術を身につけた人材を育ててほしい」との期待を込めた意見があり、令和4年2月の運営諮問会議で数理データサイエンスAI教育プログラム（リテラシーレベル）の認定に向けて対応中であることを回答し、理解を得た。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	良好	本教育プログラムに係わる科目において、先進的な事例を紹介しつつ、いかにAIが私たちの生活を支える仕組みや様々な企業の生産や管理に取り組みされているかを講義している。授業アンケートや理解度調査アンケートなどから、数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を伝えられるよう取り組んでいる。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	良好	本教育プログラムに係わる科目は、授業アンケートを通して年度ごとに改善される体制を取っている。また、授業に用いた教材をLMSを用いて配布することで自学自習に役立てられる環境を整備している。